

パークレンジャー養成講座

里山と森林の保全

NPO法人日本パークレンジャー協会

1. 里山のイメージ

湿地



雑木林



里地・里山

田畑や草原



照葉樹の社叢林



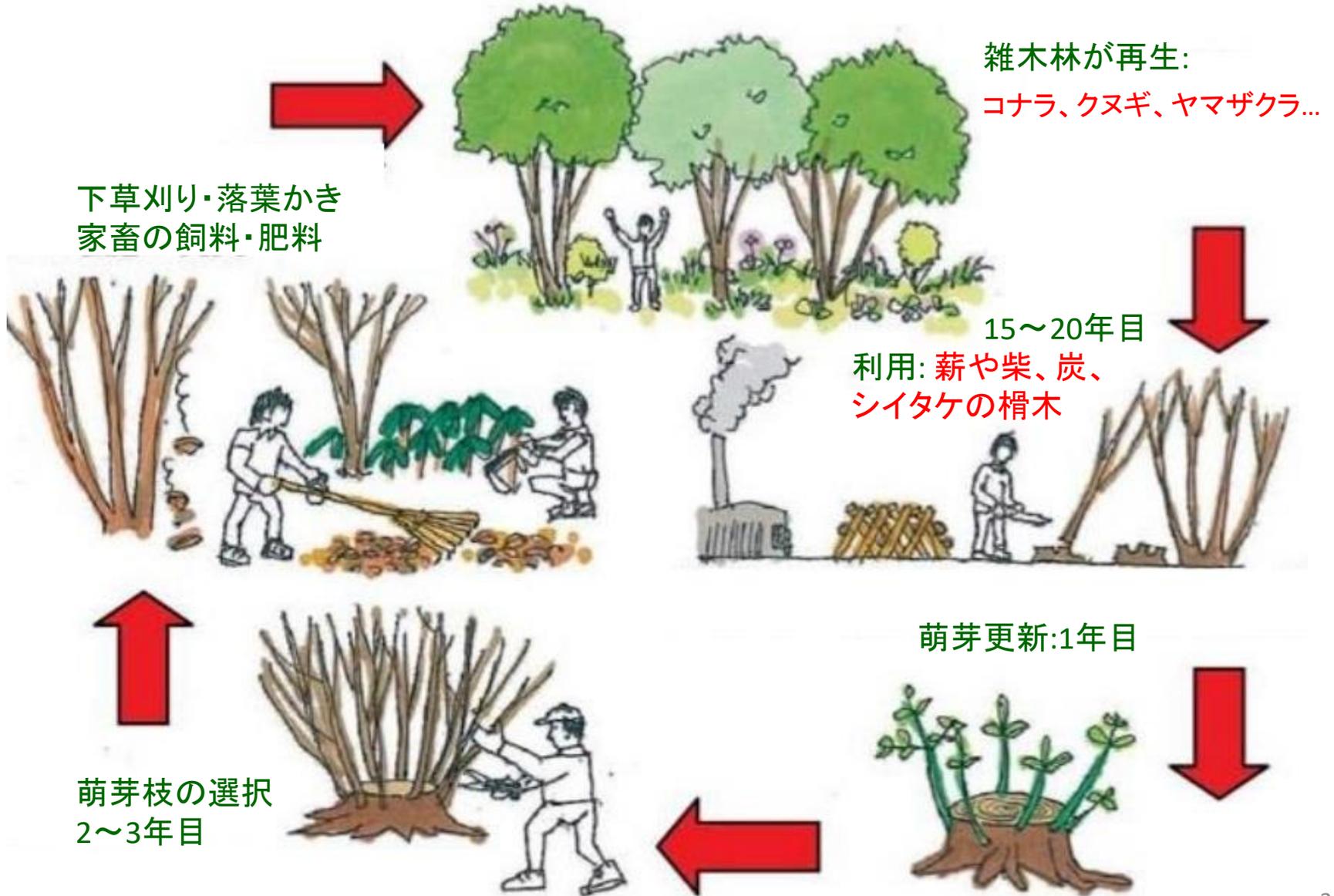
お寺や神社の森

里山とは人が生活に利用してきた草地・ため池・森・雑木林などを含む自然環境

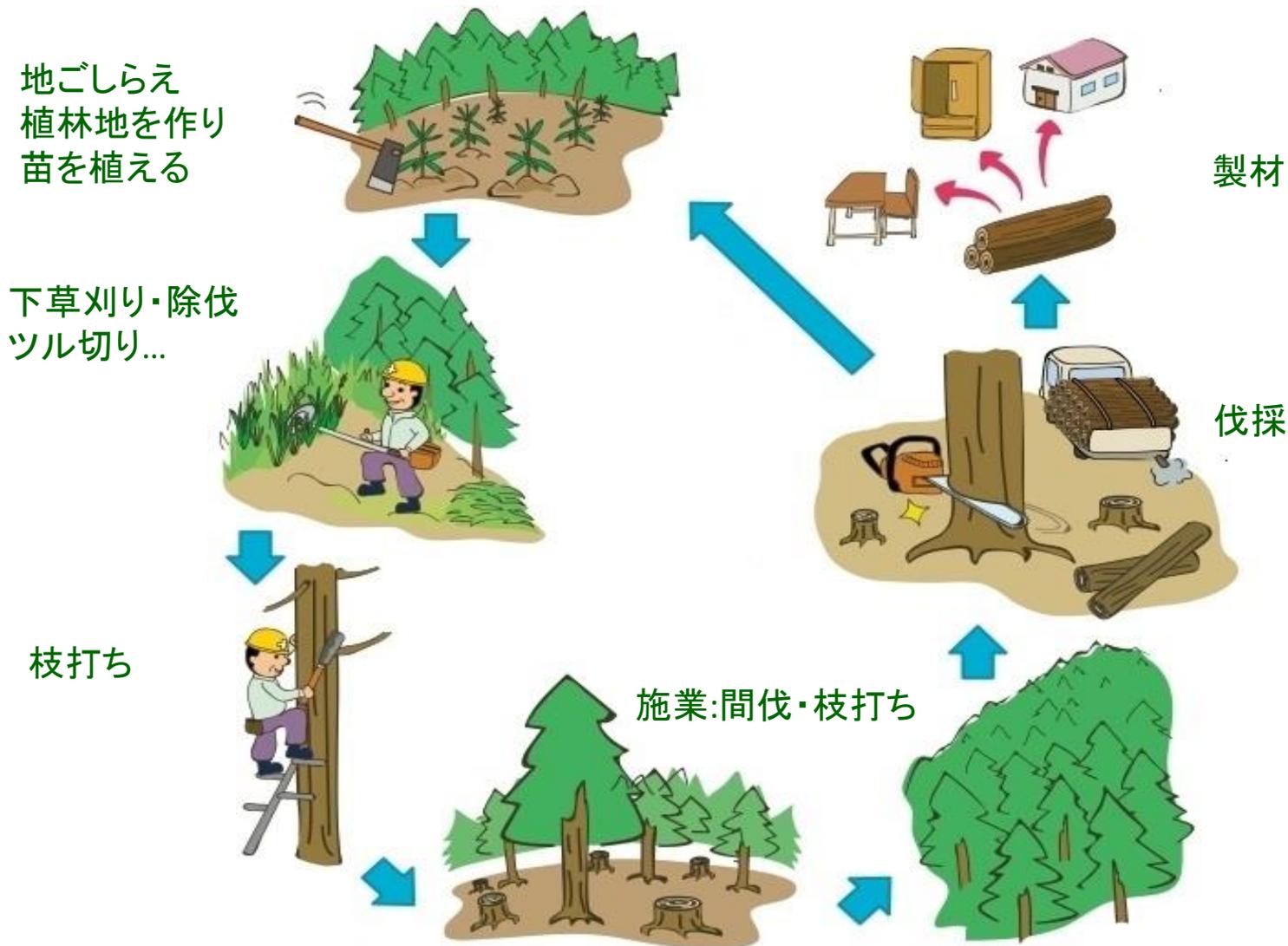
里山の利用:

- * 燃料 : 薪、炭、柴…
- * 用材 : スギ、ヒノキ、竹、ツル…
- * 食料 : 獣肉、キノコ、山菜、木の実…
- * 医薬 : 薬草
- * 資材 : カヤ、ワラ、
- * 家畜の飼料、肥料など

2. 雑木林の利用のサイクル



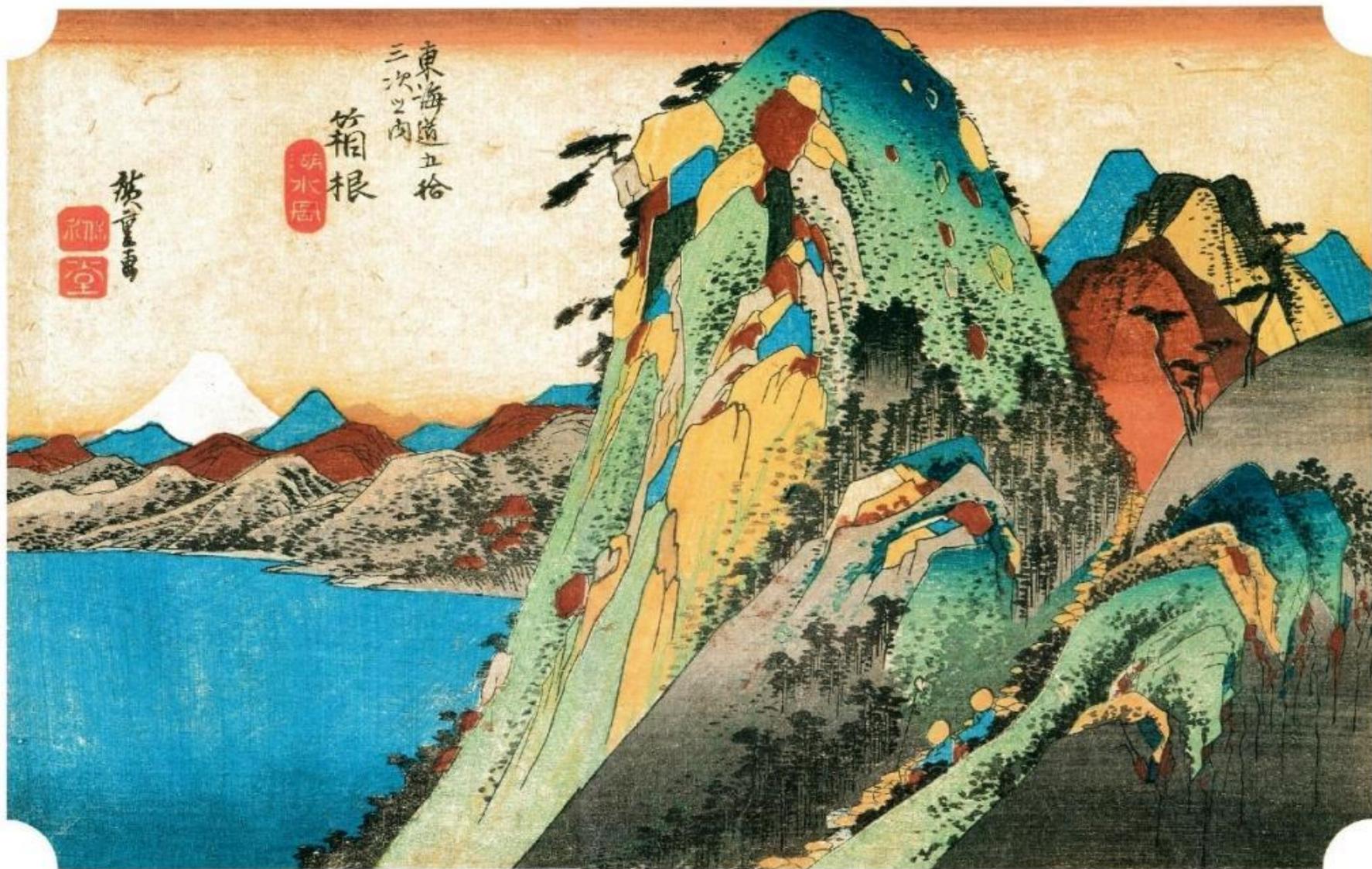
3. 人工林の利用のサイクル



4. 日本の森林の歴史

時代	西暦	利 用	森 林	備 考
飛鳥時代 奈良時代	600～	<ul style="list-style-type: none"> ・燃料(薪/柴/炭)、 ・家畜の飼料、緑肥 ・宮殿・寺院の建築材 	<ul style="list-style-type: none"> ・里山利用 ・畿内の森林が切られていった 	森林破壊の始まり
江戸時代	1600～	<ul style="list-style-type: none"> ・燃料・飼料・肥料 ・城・屋敷・造船 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国的に森林が切られて行った ・留山・留木(大量伐採禁止) ・諸国山川掟(造林奨励) 	幕府の統制 (木1本人1人)
明治時代	1900～	<ul style="list-style-type: none"> ・西洋化で木材需要増/大量伐採 	<ul style="list-style-type: none"> ・明治初期:森林荒廃 ・「森林法」で植林・整備に努める 	・林業隆盛
昭和時代 戦中 戦後	1940～	<ul style="list-style-type: none"> ・戦争による過剰伐採 ・国産材の不足(外国産材輸入増) 	森林荒廃 拡大造林でスギ、ヒノキの植林が進む	国策の林業
S40年～	1960～	<ul style="list-style-type: none"> ・国産材 減少--> 安い外国産材増 ・化石燃料による森林利用の減少 	<ul style="list-style-type: none"> ・林業の衰退 ・資源の放置(手入れされない森林増) ・アカマツの枯死(マツノザイセンチュウ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・林業成立せず ・担い手不足
平成・令和 時代	2001～	<ul style="list-style-type: none"> ・林業見直し/ 森林の効用 ・環境教育/森林ボランティア 	<ul style="list-style-type: none"> ・森林林業基本法(林業成立と森林保全維持) ・ガシナガキクイムシによるナラ枯れ ・都市と山村交流/市民による森づくり 	・持続的森創り

4. 江戸時代中期 (1830～1844年)日本の森林



歌川広重_東海道五十三次_箱根

5. 戦後大阪の山

戦前～戦後のはげ山
(黒い所はアカマツ林)



昭和40年頃には
緑が復活

6. 森林は時間とともに変化する(森林の遷移)

手入れした森
(二次林=里山)

放置した森
(極相林)



明るい森

暗い森

コナラ、クヌギ、ヤマザクラ、アカマツ、ツツジ...

シイ、カシ、ソコゴ、ヒサカキ、アオキ...

明るい森には多様な生きものが住む

暗い森・複雑な森 景観悪化、生物多様性がない



竹林の侵入

S40年頃まで人は森を利用してきた

S40年頃から森林・里山利用しなくなった

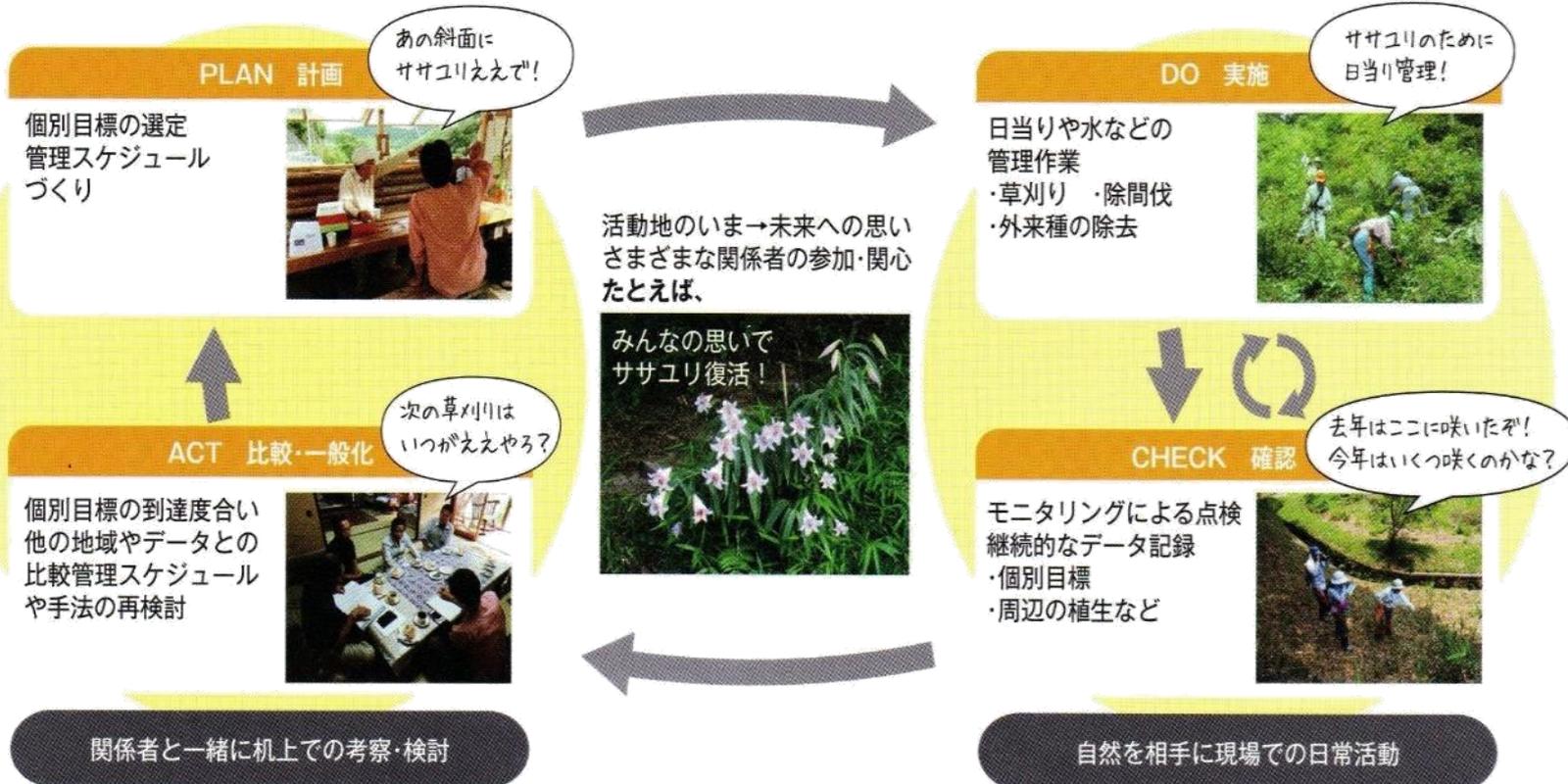
7. 日本の森林・里山利用の現状と課題

1. 昭和40年台以降、電気・ガスの普及で里山を利用しなくなった
 - * 薪や柴、炭、家畜の飼料、肥料などへの利用減少
 - * 国産木材の減少 --> 輸入の木材増加(低価格) – 林業の衰退
2. 過疎化により森林や里山の放置
 - * 田畑の放棄地増加 (後継者の不足)
 - * 放置林、竹林の拡大 --> 土砂崩壊・流出の危険増
 - * 里山景観の減少・荒廃
 - * 森林の常緑化(暗い森)
3. 林業の衰退
 - * 農山村部から都市部への人の移動 (担い手の減少)
 - * 林業は3K?
 - * 林業が成り立つ仕組みが不足
4. 松枯れ/ナラ枯れ被害が増大
5. 害獣の増加/稀少動植物の絶滅危惧
 - * クマ、シカ、イノシシ、アライグマ、サルなどが増えた
 - * 人、農作物への被害、
 - * 希少な生きもの減少(ニホンアカガエル、ヤマトサンショウウオ、ササユリ..)

8. 明るいきれいな森にするには常に手入れが必要 (府民の森は里山だった)

① PLAN どんな森にするか計画を作る

② DO 作業する



④ ACT 見直す

③ CHECK 確認する

9. ボランティアによる森林保全活動 (くろんど園地さんさくの森づくり隊)

目 標: 明るい綺麗な森にして多様な生きものが住むようにする

進め方: 市民参加でみんなで学びながら楽しくやる



10. 手入れをすると色々な生きものが住むようになる



11. おわりに

パークレンジャーの森林整備活動

- * 月に3回: 第2、第4土曜日、平日(月)1回
- * 部員登録の上自由参加
- * ノルマはありません

作業はしんどいけど

- * 自然の中で仲間と活動する楽しさ
- * 綺麗な森になるのを見る達成感
- * 色々な生き物と出会い発見して紹介する喜び
- * 少しいただける成果物(シイタケや山菜)

ボランティアは

- * 楽しいから続けられる
- * やりがいや生きがいを感じる
- * 仕事を離れた自己実現の場
- * その結果が社会に役立てば良い